

浜松歯科衛生士専門学校 学校だより

この度、4月より専任教員となりました稻垣直加と申します。この学校を卒業してから約10年間現場で臨床経験を重ねてきました。そこで培った知識や経験を少しでも学生に伝え、口腔の健康に貢献できる歯科衛生士の育成に全力で取り組んでまいります。よろしくお願ひいたします。



卒業 38期生 審地戸 陽菜

思い返せば3年前、新型コロナウイルスの影響により先の見えない状況での入学に不安を抱きながらも、新しい環境への大きな期待を胸に入学しました。

入学式を終えた1週間後には全国へ緊急事態宣言が発令され、休校が重なるなど想像していたものとはかけ離れた学校生活の始まりでした。しかしそのような苦境と同じ目標に向かっていくクラスメイト同士で励ましあいながら乗り越え、必死に毎日をすごしていくうちに、わかることやできることが増えていき、今まで瞬く間に過ぎてしまったような気がします。

うそその灯りの元、厳謹な空気の中行われた戴帽式ではキャップを戴き、誓いの言葉を述べたとき医療職を目指す者としての責任を感じ、身が引き締まる思いでした。臨床実習期間中も新型コロナウイルスの影響は続き、大変な状況下でも私たちの実習を引き受けてくださった実習先の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。実際の治療を見て患者様と関わっていくうちに知識や技術が自分のものになっていくことへの喜びを感じると共に、歯科衛生士という職業の素晴らしさを改めて感じ、自分の思い描く歯科衛生士像が明確になりました。

国家試験対策ではグループで励まし合いながら毎日勉強に取り組み知識を深めていくことができました。優しい仲間や素晴らしい環境に恵まれ最後まで切磋琢磨できたことに感謝しています。

これから、医療従事者の一人として多くの人の口腔から全身の健康づくりを支え、地域社会に貢献できる歯科衛生士となれるよう日々精進していきたいです。

学校の周りは木蓮、桜、花水木、つつじなど花々が色鮮やかな季節になりました。第32回歯科衛生士国家試験は出題基準の改訂もあり全国的な合格率は下がりましたが、38期生はお陰様で全員朗報をいただくことができました。ご指導いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

別れと出会いのこの時期、学校は41期生を迎めました。また、専任教員がお二人退職され新たに稻垣先生が就任されました。令和5年度がスタートし、コロナも徐々に落ち着き始めています。新しい年を皆で一緒に前進していくよう頑張ります。



入学 1年 高麗 萌花

この度、私たちは、浜松歯科衛生士専門学校で入学式を迎えることができました。この新たな門出に、立派な式を挙行していただけたことを心より感謝いたします。

3年間の学校生活は座学だけではなく、医療現場での見学や実習を通して、初めて分かることも数多くあると思います。歯科衛生士国家資格取得に向けての勉強はもちろん、同じ夢を持つ仲間とともに、学ぶことの素晴らしさを分かち合いながら、また、苦しい時はともに支え合いながら、一人の人間として成長していきたいです。校長先生ならびに諸先生方、温かいご指導とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

私は矯正歯科に通っていた時に、歯並びがよくなっていたり、歯を上手に磨けていたりすると一緒になって喜んでくれた歯科衛生士の方がいたことで口腔ケアに关心を持ちました。私もそのような、人々が口腔ケアに关心を持つきっかけとなる歯科衛生士を目指したいと思っています。